

愛知県陶磁器試験場設立70周年記念

日根野作三と陶磁器試験場の モダンデザイン展

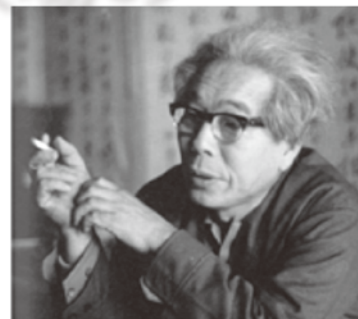
会場 高浜市やきものの里かわら美術館

会期 1月2日(水)～27日(日)

日根野作三は、戦後日本を代表する陶磁器デザイナーで、京都、信楽、瀬戸、美濃、常滑など多くの陶磁器産地でデザイン指導を行うなど、陶磁器デザインの先駆者として大きな足跡を残しました。

本展示では、今回新たに発見された、日根野が愛知県陶磁器試験場において制作した2冊の陶磁器図案集と、それを基に同試験場の職員らが制作した試作品36点を、初公開します。

会場では、最新の造形機器によるデザイン開発プロセスの紹介もあわせて行います。斬新な日根野作三のクラブデザインと、試験場の技術の融合をお楽しみください。



日根野作三(昭和41年ごろ)

関連行事

◆記念講演会「日根野作三の仕事」

とき 1月14日(月・祝) 午後1時30分～3時
講師 唐澤昌宏氏(東京国立近代美術館工芸課長)
定員 60人(先着順)
申込 かわら美術館へ電話で申込

◆ギャラリートーク(予約不要)

とき 1月20日(日) 午後2時
講師 かわら美術館学芸員
※当日観覧券が必要。

新春の瓦展

会場 高浜市やきものの里かわら美術館

会期 1月2日(水)～1月27日(日)

瓦は雨や日差しから建物を保護するという実用的な建築材料ですが、古来「家を守る」という祈りの気持ちも込められていました。鬼瓦や、留蓋瓦の獅子などは、邪気を払う(辟邪)という重要な役割を持ち、また、瓦の文様には幸せを招くためのさまざまな文様(吉祥文様)が使われてきました。平成25年の新春を迎えるにあたり、このような祈りの心のこめられた瓦を展示します。



文字文「富貴万歳」軒丸瓦
(中国・漢/前3世紀～後3世紀)

関連行事

◆ギャラリートーク(予約不要)

とき 1月20日(日) 午後2時
講師 かわら美術館学芸員
※当日観覧券が必要。

観覧時間 午前9時～午後5時(観覧券の販売は午後4時30分まで)

観覧料 高校生以上200円(160円)、中学生以下無料

※「日根野作三と陶磁器試験場のモダンデザイン展」「新春の瓦展」共通観覧券

※()内は高浜市内居住者および20人以上の団体料金。

※75歳以上の方、各種障がい者手帳を所持する方などを対象に割引制度あり。

休館日 月曜日(1月14日(月・祝)は開館)、1月15日(火)

問合せ先 ・高浜市やきものの里かわら美術館 ☎52-3366 FAX52-8100

・あいち産業科学技術総合センター常滑窯業技術センター三河窯業試験場
☎41-0410(代) FAX43-2021(日根野作三と陶磁器試験場のモダンデザイン展のみ)